

竹山地区

竹山地区別計画推進委員会

地域 竹山1～4丁目

緑区の南側に位置し、地区の南側は保土ヶ谷区に隣接しています。

昭和40年代に開発された竹山団地が中心にある丘陵地の住宅街です。この地区は、竹山中公園、竹山二丁目公園、竹山南公園等をはじめ、緑豊かな街並みが続きます。

緑区の中では最も高齢化が進んでおり、年少人口比率も最も低い地区となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

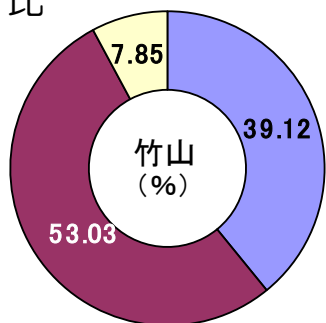
震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

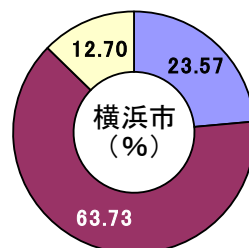
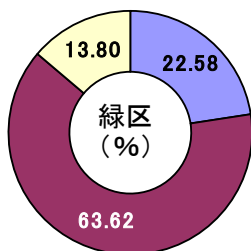
<年齢区分別人口>

平成28年(2016年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	1,247人
65～74歳	1,529人
15～64歳	3,763人
6～14歳	366人
0～5歳	191人
合計	7,096人

75歳～	18,912人
65～74歳	21,804人
15～64歳	114,730人
6～14歳	15,464人
0～5歳	9,425人
合計	180,335人

75歳～	417,171人
65～74歳	463,289人
15～64歳	2,380,661人
6～14歳	289,593人
0～5歳	184,639人
合計	3,735,353人

地区別計画推進委員会の開催状況

第1回

平成28年6月7日

18:30～21:00

竹山ホール

- ・第3期計画について
- ・現在の取組状況や課題について情報共有、意見交換

通信No.11 発行

第2回

平成28年12月6日

18:30～20:30

竹山ホール

- ・前回の振り返り
- ・今年度の報告、意見交換
→「ふれあいざろん竹多久」の新しい取組について

通信No.12 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成28年度地区別計画推進状況



竹山地区



つながり 支えあう 住み良い街をめざして

●平成28年度の主な取組

～多世代交流が盛んに～

●竹山池の取組が人気！

今年度も「釣り大会」、「竹山小環境授業」(各2回)等を実施。釣り大会は親子、祖父と一緒にの参加が多く、小学生を対象とすることで、家族に広がっています。



(写真：竹山池での「環境学習」の様子)

●小学校との新しい取組も！

・グリーングリーン作戦

子どもたちが地域の為にできる事として、地域の方に竹箒の使い方を教えてもらい、公園愛護会の方と清掃しました。

・交流会

鴨居地域ケアプラザで3年生が合唱、手遊び等を通して高齢者と交流しました。



(写真：鴨居地域ケアプラザでの「交流会」の様子)

「ふれあいさろん竹多久」に新提案！



(写真：「ふれあいさろん竹多久」のぼりが目印です！)

地域で「認知症の妻と一緒にお茶を飲める場所が欲しい」との話がありました。急速な高齢社会を迎える中で、認知症の当事者や家族が、身近な所でちょっと立ち寄ることができて、地域の人と一緒に学べたり、交流できるような場を「ふれあいさろん竹多久」も活用しながら、つくっていくことを検討しています。

竹山地区別計画推進委員会は下記の各団体等の代表者などで構成しています。 ※順不同

●連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●保健活動推進員

竹山地区別計画推進委員会



回 覧

竹山地区別計画推進委員会
平成28年7月発行 第3期-No.1 (通算 No.11)
＜連絡先＞事務局 緑区保険年金課内 TEL:930-2336

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」

竹山地区別計画推進委員会通信

「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」を基本理念に10年前から始まった地域福祉保健計画も、いよいよこの春からは第3期計画（平成28～32年度）がスタートしました！

第3期計画では、少子高齢、人口減少社会の到来といった竹山地区を取り巻く環境の変化や現状を今まで以上にしっかりと受け止めながら、これまで築き上げてきた数多くの取組や関係団体のつながりなどの確かな実績を活かし、今後も様々な連携や取組を模索しながら、子どもから高齢者、障がいのある人もない人も、誰もが安心して暮らし続けられる竹山を目指して取り組んでいきます。

第3期計画 いよいよ始動！

平成28年度第1回推進委員会が6月7日に竹山ホールで開催されました。竹山地区の住民が集まり、身近な地域の福祉保健に関するまちの特性や課題などについて話し合いながら策定した第3期計画に掲げた3つの目標にそって、各団体等の取組状況や現状の課題などについて意見を交換しました。また、地区別計画推進委員会の役割などをより明確にするために規約も新たに設け、これが承認されました。

竹山がもっと暮らしやすく豊かなまちになっていけるように、出席者からは、各団体を代表していろいろな意見や課題が共有されました。

詳しくは、裏面をご覧ください。



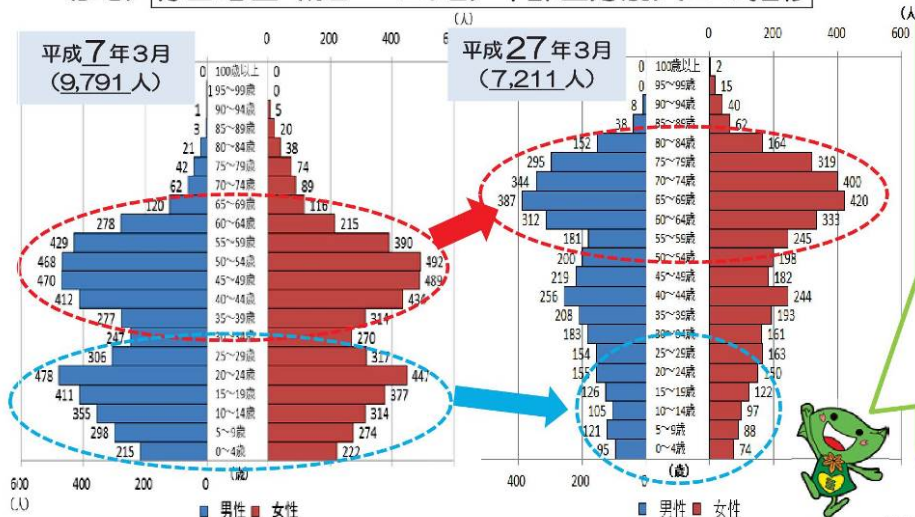
当日の委員会の様子

＜委員会構成団体等＞
連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、老人会、小学校 等 計23名

第3期（今後5年間の）竹山地区別計画の目標

- ◆目標1 「ボランティアの取組を充実します」
- ◆目標2 「知りたい情報をわかりやすく伝えていきます」
- ◆目標3 「世代間・活動団体間の交流を進めます」

(参考) 竹山地区(竹山一～四丁目) 年齢区分別人口の推移



竹山地区の人口は、この20年間で約1万人から約7千人まで減少しました。人口の多い年齢層が高齢層へ移行し、特に低年齢層が減少しています。そんな時代にあつては、各団体等の協働、協力、個々人のささえ合いがますます重要になっています。そのため、今回の委員会からは、新たに竹山小学校や老人会などからも参加いただいています。



緑区マスコットキャラクター ミドリリン

意見交換～竹山地区の取組状況や課題について

目標1

ボランティア
の取組を充実
します！

【地区ボランティアセンターについて】

- ・平成21年から開始し、現在の年間のニーズは40件ほど。民生委員・ボランティアなど40名がかかわっている。包丁研ぎも人気。
- ・新たな活動体制としてエリア・各丁目で対応できる仕組みも検討中。また、一部有償化についても検討中で、お金を払うことで頼みやすくなるという意見も。

【階段委員（班長）について】

- ・自治会加入率が下がり、1階段8軒のうち1軒ほどしか加入していない現状あり、活動が機能していないところも出てきている。役割や連絡網も少しずつ崩れて来てしまっているところもあるようだが、防犯、防災を考えると、階段委員は基本単位。支えていけるような仕組みや体制づくりも必要。
- ・「美化デイ」などでは、お知らせを伝えたり交流が出来る。管理組合との会合等、全体で考えていく機会が大切では。



竹山地区ボランティアセンターのみなさん
～何か生活のことでちょっとしたお困りごとがあれば
ぜひお気軽に御相談ください！～

【広報について】

- ・広報活動まで十分にできていない団体も多い。手が回らないけれど、若い人にも届く広報の手法なども考えていきたい。
- いろいろな広報紙や機会もあるので、関係団体との連携を強めて、広報の面でも協力できる関係になれるといいのでは。

目標2

知りたい情報を
わかりやすく伝
えています。

目標3

世代間・活動
団体間の交流
を進めます。

【竹山池の活用について】

- ・竹山池を地域の宝として蘇らせたい。小学校4年生が参加した池の「生き物授業」を今年度もやっていきたい。

【こどもたちとの交流のアイデアについて】

- ・「こどもボランティアカード（特典あり）」を作成し、こどもの参加を募り、表彰する取り組みをしている。

【小学校と地域のつながりについて】

- ・授業に地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、いろいろな機会でも地域のことを教えていただける機会を増やしていきたい。

【「ふれあいさろん竹多久」の取組について】

- ・27年度は稼働日数を増やす一方で、人件費を抑えたりで、今後は、5500円/日（250円×23人/日）程度の来客・売上で赤字にならず運営できそう。より魅力的な場所にしていくために、集客や貸館、新メニュー開発等、アイデアや工夫をみんなで考えていきたい。

- ・子育て世代の利用がない。保育園にも声かけたが、遠慮して入りづらい様子。子育て世代の講座を入れる等、工夫してはどうか。

- ・いまだに場所を知らない人がいる。場所がわかりにくいのが原因？

- ・3年かけて自主グループ化した介護予防の健康体操を行う「元気づくりのひろば」も月2回実施中。少しずつ参加者も増えている。



竹山池での「生き物授業」の様子



「ふれあいさろん竹多久」の様子
(のぼりが目印です)

ご存知でしたか！ ふれあいさろん竹多久（ちくたく）の名称には
～時計の針のように、地域の人々が気楽にふれあえる場であるように～
そんな願いが込められています。ぜひ一度お気軽にお立ち寄りください。

【場所】Aコープ屋上駐車場横(旧カナル跡地)

【開館時間】月曜日から土曜日まで毎日(10:00～16:00)

【施設利用料等】100円 / 他 コーヒー等・飲み物100円から





回覧

竹山地区別計画推進委員会
平成29年2月発行 第3期-No.2（通算No.12）
＜連絡先＞事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」

竹山地区別計画推進委員会通信

今年度2回目の委員会を開催

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区別計画を推進していくために、平成28年度第2回推進委員会が12月6日に竹山ホールで開催されました。今回は、第3期計画に掲げた3つの目標のうち、前回委員会でも多く意見があがった**目標3「世代間・団体間の交流を進めます」**について、取組状況の報告や新たな取組の提案に対して意見交換が行われました。



当日の委員会の様子

取組状況報告① 竹山池の取組が人気！



町田委員長

今年度も「釣り大会」、「竹山小環境授業」（各2回）等を実施。釣り大会は親子、祖父と一緒にの参加が多かった。**小学生を対象とすると、家族に広がる。今年度は池のそばで見学する親世代が増えてくれた。**捕まえた生き物は小学校で飼育したりもしている。かい掘りにより、新しい水が入ってきて、きれいな状態が保たれている。



竹山池全景（釣り大会）

かい掘り集合写真

取組状況報告②

竹山小学校の子どもたちとの交流も盛んに！

今年の新しい取組として、①子どもたちが地域のためにできる事として「クリーニンググリーン作戦」を実施。地域の方に竹箒の使い方を教えてもらい、公園愛護会の方と清掃した。②鴨居地域ケアプラザでは、3年生が合唱、手遊び等を通して高齢者と交流した。

継続取組としては、4年生が竹山池の生き物授業に参加し、学習発表会で共有。福祉まつりでは3年生が合唱で、全校がポスター作成に参加。ゲストティーチャーの取組では、いちょうの会や寿会の皆様には昔の生活を教えていただいたり、竹生会の皆様には昔の遊びを教えてくださいました。朝、夕方の登下校の見守りも含め、一年間を通じて、地域の方に見守り、教えて頂いている。**子どもたちが安心して生活できる地域**と感じている。



三上竹山小学校長



竹山福祉まつりでの3年生の合唱

様々な取組を通じて交流が進んでいるだね！裏面に続くよ！



取組状況報告③

「ふれあいさろん竹多久」に新提案！

急速な高齢化
を見据えて。

～新規取組提案の内容～

地域でのささえ愛
のために！

◎「認知症」の人、家族、地域住民、(専門家)が集い、
交流や情報交換を主とする認知症カフェを開きたい！

(構想)～平成29年春先にかけて検討を進めます～

- ・定期開催(隔月1回程度)、2時間程度(午前・午後)
- ・1回あたり5～6組想定、定期イベント(講演会等)も



(左) 鈴木 地区社協会長
(右) 小野寺 同事務局長

急速な高齢化、認知症の方の増加があるにもかかわらず、ほとんどの家庭では認知症の本人を表に出さない、出せない状況で、家にこもりっきりになっているケースが多いのではないかと。家族と散歩に出て、ちょっと立ち寄る事ができて、気持ちを少しでも軽くしてあげられるような場。昔を知っている人に声をかけられると昔の感覚を取り戻す機会にもできるかもしれない。

一般の人、ボランティアにも認知症の理解が進むことも期待できる。

区や区社協、鴨居地域ケアプラザとも相談しながら進めていきたい。参加者の募集は積極的に呼び掛けが必要で、手法は検討していきたい。名称については未定。今年度の地区別計画推進費も活用しながら、春先にかけて取組を少しずつでも推進していければ。

【主なご意見】

- ・難しい取組だと思いが、そういう場が身近なところであったら良いと思う。
- ・「認知症」が前面に出ると敬遠されるかもしれない。名称は検討が必要。
- ・一般の人でも認知症に関する話等を聴くことができるイベントは良い。
- ・単身で軽度の認知症の方は沢山いるが、誰かがリードしてあげないと参加できないのでは。
- ・家族が同伴しなければというわけではなく、そこでボランティアセンターがお手伝いできないか。
- ・家族も話せる場ができるのは良い。いろいろリサーチも必要では。

etc 多くの意見交換がなされ、基本的な方針・取組内容については賛同・承認されました。



「ふれあいさろん竹多久」の様子
(のほりが目印です)

ご存知でしたか!? ふれあいさろん竹多久(ちくたく)の名称には
～時計の針のように、地域の人々が気楽にふれあえる場であるように～
そんな願いが込められています。ぜひ一度お気軽にお立ち寄りください。

【場所】Aコープ屋上駐車場横(旧カナル跡地)

【開館時間】月曜日から土曜日まで毎日(10:00～16:00)

【施設利用料等】100円 / 他 コーヒー等・飲み物100円から



<みどりのわ・ささえ愛プラン・竹山地区別委員会構成団体等>

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、老人会、小学校 等 計23名